



善いも悪いも、いかなるご縁であろうとも、ご縁をご縁として受け止めて生きていける人生を歩みたいものだと思います。

生きている一瞬一瞬の、初めての経験ばかりの積み重ねの人生を、すべてが新しいという感動をもって生きる事が出来たならば、とても幸せな人生として受け止めていけるのではないのでしょうか。それが、たとえ私にとって不都合なことであったとしても、そのまんま受け止めていける人生には、きっと阿弥陀様の世界が開かれてくることでしょう。あの「妙好人」がそうであったように。  
 (妙好人…篤信の人・浄土真宗特有の呼称・次ページには言葉を紹介)

勝つか負けるか、損か得か、上か下か、比較でしか「もの」が見えない私たちには、ご縁がご縁としての、その重みと深さのあることのありがたさが感じられない、悲しさがあるのです。

## 独居高齢男子の幸は薄い？

一ツ木 Y・K

妻ロス、夫ロスという言葉があるらしい。妻もしくは夫を「くす」という意味のようです。テレビの番組で、妻もしくは夫を失くされた人に対して、言っではいけない言葉があると紹介していた。傷つく言葉は次のような言葉だそうです。

ひとりご気楽でいいじゃないの  
 もっと良い病院へ行けばよかったのに  
 遺族年金で暮らせるじゃないの  
 夫をくくしたのによく出かけるねえ等

こいつが気軽に言った言葉が相手を傷つけることになるのです。

独りになると、やることも無く「ママでしょ」と声をかけられることが、炊事、洗濯、掃除、買い物、それと遊びと、結構忙しい。

会社人間で家事、育児などすべてを妻に任せていたこともあり、家事の大変さを知り、今更ながら妻に感謝している。

しれあいをくくしたときに、知人から次のような印象に残る内容のメールをもらったことがある。

お慰みにはなりません。夫婦のどちらかが先に逝ったとき、この悲しみをどちらかが受け持つかと考えると、残った者が悲しみを背負うことになり、先に逝った者はその悲しみを知らなかったわけです。この度、貴殿には、奥様をその悲しみからお救いになられた大きな愛を感じております。

独居高齢男子の幸は薄い」といった新聞記事があった。独り暮らしの高齢者へ、自分自身が幸福だと喜んでる男性は、女性の半分だと聞いています。

男は女に比べてなせもこのか。

調理ができない

おしゃべりができない

買い物がかまへできない

ひとりご残されるという覚悟ができていない 等

無口で人見知り、人間関係が苦手、子供がいても疎遠…こいつ男性は要注意だそうです。



平成二十七年度

# 報恩講

今年一年の人生はいかがでしたか？。何を見、何を聞き、何を思い考え生きてこられた一年でしたでしょうか？。確かに生きた人生の実感をかみしめながら、この一年を締めくくりたいものです。今年も報恩講が勤まります。是非ご参詣いただき、ご恩報謝の思いを篤くしていただけたらと思います。



十二月

十三日(日)〇

午前	九時半・読経	十時半	法話
午後	十三時・読経	十四時	法話
法話	教順寺住職	K・S師	

## お知らせ

今月十二月の学習会はありません。

除夜の鐘

昨年は思わぬ出来事で、途中で中止となりました。その後修繕をいたしましたので、本年の除夜の鐘は予定通り行なわれます。多くの皆様のお越しをお待ちしております。

平成二十八年二月の行事

1月1日(元旦) 修正会 8時より

一年の始まりのお勤めをいたします。

除夜の鐘にお越しただけなかつた皆様、ぜひご家族そろってご参詣ください。

1月9日(土)第2土曜日 5時半より 光受寺懇親会

例年の定例行事です。通称おでんパーティーとも申します。会費5000円で行う有志の会です。有志の方で作られた心を込めたおでん「が」ただけです。お気軽にご参加ください。

## 梅の開花情報

十一月下旬より  
光受寺ホームページ  
で紹介しております

## 光受寺門信徒總會開催のご案内

光受寺をご理解いただくために、また寺そのもののあり方をご理解いただくために、より多くの方々のご参加をお願いいたします。

期日 報恩講当日15時より16時半まで

議題 行事報告・予定 決算・予算 その他 役員交代等

## 妙好人の言葉 浅原才一

法は苦が楽しみ、それが苦なしのなむあみだぶじ。

それは、そごちは、邪見ではないか、そう思う。

お前らが聞くのは、その通り

お前らには何を言ってもわからん

お前らは理屈をいひつゝ、おんから

わからん

そりゃわからんはずよ

自力で他力を聞いておんから

わからんはずよ

「意見と感想をお聞かせください。」

次頁で紹介させていただきます。

## お願い

光受寺では樹木の枝葉の「ミ」が大量に出ます。厚かましいお願いですが、墨保地区のご家庭で、余分に「ミ」を「ミ」がございまして、いらしたご家庭が、ごみとしてお持ち帰ります。よろしくお願いたします。